

議員提案第24号

柏崎刈羽原発の再稼働を中止し廃炉を求める意見書の提出について

このことについて、次のとおり意見書を提出するものとする。

平成28年3月18日提出

新潟市議会議員

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

渡辺有子

五十嵐完二

飯塚孝子

野本孝子

倉茂政樹

平あや子

青木学

小泉伸之

竹内功

石附幸子

青野寛一

中山均

柏崎刈羽原発の再稼働を中止し廃炉を求める意見書

福島第一原発の大事故は、いまだに収束の見通しが立たず、故郷に帰れない被災者はいまなお 10 万人に上ります。最近の地元紙などによる世論調査では、柏崎刈羽原発の再稼働について反対と答えた県民が 47% に上り、2 割余りの賛成を大きく上回る結果となりました。

その一方で、原子力規制委員会による柏崎刈羽原発 6・7 号機の新基準適合性審査は大詰めを迎えており、政府、東京電力による原発再稼働が進められようとしています。

福島第一原発事故の原因究明も総括もないまま、そのもとでつくられた新規制基準に適合したとして、全国で次々と原発が再稼働しています。原子力規制委員会は福島第一原発と同じ沸騰水型原発の審査について、柏崎刈羽原発 6・7 号機を優先的に進めており、既に東電が示した基準地震動を了承し、さらに敷地内に活断層はないとする東電の評価も了承しました。沸騰水型炉では初めて、審査の山場を越えたと言われています。

しかし、柏崎刈羽原発は、その敷地内に 20 万年から 30 万年前に動いた断層が直下も含め 23 本も存在する上に、7 基 821 万キロワットに及ぶ世界一の集中立地であり、同時多発事故の危険性も指摘されています。柏崎刈羽原発は深さ 200 メートルから 300 メートルに及ぶ脆弱な砂層の上に立地し、基準地震動は 2,300 ガルと全国の原発の中で群を抜いており、巨大な地震が襲う可能性のある世界一危険な原発であることは明らかです。

新潟県原子力発電所の安全管理に関する技術委員会が昨年行ったシミュレーションによって、柏崎刈羽原発で重大事故が起きた際、莫大な量の放射性物質が放出され、60 キロ以上離れた新潟市にも大きな影響が及ぶ可能性のあることが明らかになりました。一旦重大事故が起きれば、県民、市民にとって取り返しのつかない被害が予想される柏崎刈羽原発を再稼働させることは断じて許されません。

よって本議会は、柏崎刈羽原発の再稼働を中止し、廃炉とするよう強く要望するものです。

以上、地方自治法第 99 条の規定により意見書を提出します。

平成 28 年 3 月 18 日

新潟市議会議長
高橋 三 義

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
経済産業大臣

} 宛て